

目的

観光カリスマ塾は、地域のリーダーとして観光地づくりに成功した観光カリスマから、その取組みのプロセスを観光カリスマの現地で直接講義を受け、意見交換をすることにより、次代の観光まちづくりのリーダーを育成することを目的とする。

概要

観光カリスマを講師として、観光カリスマの現地において、20名程度の受講生を対象に、講師となる観光カリスマ自身が策定するカリキュラムを基に、講義・現地視察等を1泊2日(または2泊3日)のセミナー形式で開催する。

受講資格

自治体関係者、観光関連業界の方、学生の方など、地域の特色を活かした観光振興や地域の活性化、魅力のあるまちづくりに熱意のある者

カリキュラムの内容

- ・観光カリスマの取組活動などの講義
 - ・観光カリスマによる現地視察・現場体験
 - ・受講生によるグループミーティング
 - ・地元の関係者との意見交換会
- など、観光カリスマと地域が取り組んできたことを「体験」できる構成

開催実績

- ・平成16年度:大分県湯布院町(現在、由布市)等9地域で実施
- ・平成17年度:群馬県草津町等5地域で実施
- ※ 上記に加え、「観光カリスマシンポジウム」を開催(於:大阪市、平成18年3月)
- ・平成18年度:兵庫県豊岡市等9地域で実施
- ・平成19年度:広島県呉市等8地域で実施

平成19年度実施の様子



笑いの「夕日寄席」
(愛媛県伊予市会場)



古代藻塩づくり体験
(広島県呉市会場)

- 開催地 福島県会津若松市
- 開催期間 平成19年11月1日(木)～2日(金)
- 塾長 「観光カリスマ」渋川 恵男氏
(七日町通りまちなみ協議会会長)
- 受講者数 18名

■平成19年11月1日(木) 会場:会津若松ワシントンホテル

時間	事項
15:00～ 15:30	【開講式】 主催者あいさつ(国土交通省東北運輸局) 歓迎のあいさつ(会津若松市・鈴木清章副市長) 会津観光の取り組み(会津若松市・福島一郎観光課長)
15:30～ 16:40	【講義】 講師・渋川恵男氏(観光カリスマ) テーマ『まちづくりと観光振興』～地域再生の決め手～
16:40～ 18:00	【グループミーティング】 『観光資源とは何か?』
18:00～	【交流会】

■平成19年11月2日(金) 会場:七日町通り、野口英世青春通り、渋川問屋

時間	事項
9:15～ 12:00	【視察】 (七日町通りの町並み及び野口英世青春通り) 野口英世青春広場 → 野口英世青春館 → レオ氏郷南蛮館 → ギャラリー夢蔵 → 鶴乃江酒造 → 会津ブランド館 → アイパッセ → 駅カフェ → 阿弥陀寺 → 渋川問屋
12:00～ 13:00	【体験】 会津郷土料理の体験
13:00～ 13:30	【意見交換会・まとめ】
13:30～	【閉講式】

○概要

講義「『まちづくりと観光振興』～地域再生の決め手～」

・地域内の人材育成と効率を加味した広範な連携が不可欠である。個人での活動には限りがあり、グループでの活動が必須となっている。また、活動の継続性を維持するのは個々人の経験やノウハウを伝えていく必要がある。さらに、まちづくり、商店街の活性化には、他業種であり、関係する行政機関も多岐に及ぶこと、また、個人や地域で行き詰まった際には、同様な課題を乗り越えた他地域の先達があり、連携を図った取り組みが必要である。

- ・地域住民だけの活動ではできないことがあり、行政と地域住民が一体化して取り組む態勢づくりが重要。
- ・スクラップ＆ビルドではなく、サステナブルなまちづくりを行い、先人達の長い時間をかけた取り組みを活かし、なおかつ新しい魂を吹き込むことでまちづくりに活かす。くじけず行ったことが今日につながっている。



(真剣に塾長の講演に耳を傾ける受講者)

グループミーティング

渋川 恵男氏(観光カリスマ)、庄司 裕氏(七日町通りまちなみ協議会副会長)を座長とする2グループに分かれ、疲弊している交流振興を何で呼びこむのか、どのようなものが観光資源となるのか、直面する課題、問題提起について議論。



(グループミーティングの様子)

意見交換会

- ・やる気と人の思いをくむことに学ぶ点が多かった。町と行政の連携がうまく行っていると感じた。(行政)
- ・七日町には新しい発見があった。地域住民が楽しめるものが本物だと胸に刻んだ。(温泉観光協会)
- ・町並みは勉強になり、楽しかった。地元を見直した。(観光関係大学・大学生)



(現地視察の様子)